

経営改善計画期間中の具体的改善策と実施時期等

項目	課題	実施期間	具体的な改善策
出荷経費削減 販路拡大	JA等の出荷経費 出荷比率の変更	令和2年8月～令和3年7月	JA出荷では3カ所の手数料と運賃で約25%が引かれてしまう為、卸業者への出荷を増やしJA経費分の25%を収入へ転換する。
売れる品目への 転換	新規品目の栽培技術	令和2年8月～令和3年7月	卸御者からは地場産のほうれん草を要望されている。 一定価格で手数料が掛からない為、計算できる収益となる。
モリンガ 栽培加工	製品開発、販路の定着	令和2年8月～令和3年7月	協力者と農福連携で前期試験栽培をする。収穫し加工・製品化をする。 販路しだいでは規模拡大が出来る。

(注) 経営改善を行う項目(例：営業体制の強化、経費削減、販路拡大等)を記載するとともに、課題を記載し、その課題に対応するための実施期間と具体的な改善策をそれぞれ記載する。適宜欄は追加する。

(計画期間中の見込額)

(単位千円)

令和2年		8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	計
収益	就労支援事業収益													
	就労支援事業活動収益計	974	1,187	2,211	2,255	1,398	2,057	2,424	1,951	2,127	2,426	1,405	1,585	22,000
費用	就労支援事業販売原価													
	期首製品(商品)棚卸高													
	当期就労支援事業製造原価	2,051	2,043	2,001	2,292	2,320	1,947	2,543	2,438	2,330	2,298	2,087	2,340	26,690
	当期就労支援事業仕入高													
	期末製品(商品)棚卸高													
	就労支援事業販管費													
	就労支援事業活動費用計													
	就労支援事業活動増減差額	-1,077	-856	210	-37	-922	110	-119	-487	-203	128	-682	-755	-4,690
	支払い資金総額	1,245	1,245	1,245	1,245	1,494	1,494	1,577	1,577	1,660	1,660	1,660	1,660	17,762

(前年度実績)

令和元年		8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	計
収益	就労支援事業収益													
	就労支援事業活動収益計	687	1,052	1,555	1,247	1,397	1,143	1,242	1,370	1,694	1,649	1,137	1,869	16,042
費用	就労支援事業販売原価													
	期首製品(商品)棚卸高													
	当期就労支援事業製造原価	1,933	2,027	2,114	2,055	1,964	2,114	2,266	2,205	2,382	2,459	2,333	2,416	26,268
	当期就労支援事業仕入高													
	期末製品(商品)棚卸高													
	就労支援事業販管費													
	就労支援事業活動費用計													
	就労支援事業活動増減差額	-1,246	-975	-559	-808	-567	-971	#####	-835	-688	-810	-1,196	-547	-10,226
	支払い資金総額	1,337	1,325	1,241	1,278	1,177	1,235	1,243	1,150	1,305	1,301	1,349	1,281	15,222